



5日間のサマースクールは無事終わる事ができました！
今年のテーマは「Superhero」。アメリカンキッズに大人気のスーパーヒーローを題材に、英語を使ったゲームや音楽、クラフトや映画など、盛りだくさんの5日間でした。また、通常クラスでは見られない子供達の素顔に触れる事ができ、私達にとっても学び多い日々でした。

人気のサマースクール、感謝な事に、申込受付開始より数日間ですでに定員オーバー。キャンセル待ちも多く、私達スタッフも大いに励まされました。

たった5日間で英語が上達するという奇跡はありませんが、英語が楽しかった！という経験は、今後の英語学習への大きな力となると思いますし、英語に対する健全な学習意欲へと繋がると強く信じています。サマースクールって準備が本当に大変ですが、子供の笑顔と、好奇心に満ちた目の輝きを見ていると、また来年も頑張ろう！という気持ちにさせられています。

●《重要》翌月からの各種変更（休会・退会など）の手続きの届出締切日は20日までです。お間違いのないようお願い致します。一部欠席された場合、あるいは20日までに休会・退会のご連絡がなかった場合、特別な理由を除き後からの払い戻しはできませんのでご了承ください。

●英検3級対策コースを受講予定の方は、受講料6600円を9月分のお月謝と一緒に引き落としさせていただきます。

●9月23日（土・祝）は通常通り授業がございます。お間違いのないようお願い致します。

●英検受験申込は締め切りました。第3回の英検は1月に予定しております。

●クラスのグループ写真は会員限定ページにて随時掲載しております。会員限定ページのパスワードをお忘れの方はお問合せください。

●サマースクールの写真は参加者限定ページに掲載しております。

●4月～8月までの子供達のクラスの様子を報告書（evaluation）にてお伝えいたします。9月後半から10月頃に随時お渡しいたしますので、お確かめください。

●多読アプリ有料貸し出し受付中：600円/月×2024年3月までの月数

●《9月～10月の補講日》補講の予約をキャンセルする場合は、確認メールよりお手続きください。

スーパーキッズ	14:55～15:25	9月16日（土）	10月14日（土）
キッズ①&①+	14:55～15:25	9月23日（土）	10月21日（土）
キッズ②&②+	18:20～18:50	9月19日（火）	10月17日（火）
キッズ③&③+&キッズ④	18:20～18:50	9月26日（火）	10月24日（火）
キッズ④以上/中学生	14:00～14:30	9月2日（土）	10月7日（土）

ARK ACADEMY



フェイスブック インスタグラム ホームページ 補講予約ページ

〒669-1323 三田市あかしあ台4-8-1
Tel / Fax : 079-563-3132 mail: info.ark.academy@gmail.com



- はじめに ■英検と英検対策コース
- Summer School Report
- 新着情報・お知らせ ■今月の誕生日
- 中1年時でやっておくべきこと
- 英語と日本語の発音の違い

はじめに

8月に替で話題になったニュースといえば「23年度全国学力テストの結果」。なんと中3英語「話す」の正解率が12%、その中身は0点だった生徒さんが63%もいたそうで。英語教育関係者には相当なショックな結果だったのではないのでしょうか。

どんな難しいテストが出たのか気になり、動画をチェックをしてみます気になったのが、スピーキングの遅さ・・実用英語でこんなにのんびりだらだらとしゃべる人はいません。日本語の説明もやたらと長し、油断したら居眠りをしそうになりました。文科省は「質問が難しすぎた」というコメントを残していましたが、自分の考えを述べるだけの試験内容だけではなく、相手の意図を汲んで回答する必要がある設問もあり、英語力だけではなく、コミュニケーション能力も問われていたと思います。

さらに問題になるのが、今の中3というのは小学校で4年間、そして中学校で英語を学習した子たちということで、いわゆる小学校での英語教育の成果が問われる試験となったのに、会話活動を中心とした英語教育を実践したにも関わらず、スピーキングがこの散々たる結果となってしまったこと。学校英語を変える、変える、とう何年言い続けているのでしょうか・・・学習指導要領は確かに激変していますが、結局は絵に描いた餅になっているようです。

英語は学校任せにしては身につかないし、下手にカタカナ英語が身につけてしまうと、取返しに莫大な時間がかかるという危機意識は持っている方がいいと思います。中学生の英語嫌いが増えている、という記事を先月のニュースレターでも書きましたが、ラジオ英会話やYOUTUBEなど、工夫次第でいくらかでも英語は学習できるので、遅くても小学生高学年頃から、学校英語に頼らない、自分にあった英語学習を開拓していくことを強くお勧めします。

中学1年時でやっておくべきこと

中1英語、とても大切です。今後3年間の英語学習を左右するとても重要な時期です。でも、中学1年生の1学期の時点で英語嫌いが続出しているようで、当教室への問い合わせも後を絶ちません。(涙) 中学1年生で英語が分からなくなってしまうと、2年生になって学習の遅れを取り返すのは本当に大変です。また、中学英語が理解できなければ、高校英語はもちろん、英検やTOEICなどの資格英語には手が届きません。

中1は一番点数が取りやすい時期ですし、点数は自信にも繋がってきます。中1は今後の英語学習の方向性を決めるといっても過言ではありません。もしお子さんに英語嫌いの気配が見えるようでしたら、中1の2学期からは注意していただきたい点を紹介いたします。

① まず、アルファベットの間違い。英語の字に触れる機会が少なかったお子さんは b と d がひっくり返ってしまうケースが多いです。ニミスですが、とても大事です。また、スペルが分からない時にさっとアルファベットが出てこない、ローマ字書きが抜けない場合も多いです。これらは、練習不足が原因の場合が多く、せめてアルファベットがスラスラ書けるようにしておきましょう。

② 単語の量と知識量。小学校で学習したスポーツや食べ物等の単語は分かるけど書けないケースが多いです。これもスペリングの練習不足が原因です。学校のワークだけでは量不足です。単語をただノートに書いて提出するだけでは身につけません。先生の英語をリピートはできるけれど、単語を見ていないので文字に意識がいておらず、音と文字がリンクしていないのです。中学英語を小学英語の延長と考えていると、音は介しているけれど文字が入っていないという習慣から抜け出せず、単語の定着率が悪いのです。また、問題を解くことばかりに意識がいてしまい、単語の意味や文の内容を理解しながら進めていくことができていません。「問題を解く」より「問題を理解する」ことにフォーカスする事がとても重要です。

③ Are you と do you の違いが分かっていない。一般動詞とbe動詞の違いは中3でも分かっていないケースが多いです。主語、動詞、目的語って何?というところが理解していれば、その後の英語学習の方向が違ってきます。一般動詞とbe動詞がちゃんと区別できていれば、何がわからないのか分からないという状況を防ぐことができます。主語+動詞の形や動詞の種類の違いの理解は3年間非常に重要になってきます。これらは英語学習の基礎であり、まずはこれを整理をしないと前に進めません。

中学英語を小学英語の延長として考えていると、いつの間にか学校の勉強についていけなくなります。まずは練習量を増やす事が大事です。ただ、量を増やすだけではなく、雑さを排除していかなければなりません。宿題の仕方、提出物の仕方をみていたら、これでは身につかないな~と思っている先生は多いかと思えます。やみくもにではなく、一般動詞とbe動詞をうまく使い分けるように学習する必要があります。分からない単語や文章ほっておいたり、提出する事に赴きをおきすぎて、ただひたすら問題だけやってまるつけして、もしくはうつつして提出しても身に付きません。中間テストや期末テスト等は出題範囲が決まっているので、一夜漬けでも点数に繋がる事が、できたつもりになってしまいがちですが、それはとても危険です。英語は基礎がないといつか必ずガタガタと崩れ始めます。

2学期も学習内容が分からないまま進み3学期になってしまうと、取返しに時間がかかってきます。どんどん平均点より差が開いてしまうと本当に苦労するので、2学期中に分からない箇所を克服し、中学2年生ではせめて「英語は嫌いではない」という状態で英語学習に向き合えるよう、1年生の間に対策を取っておくことを強くお勧めします。英語だけではなく、他の教科の勉強も忙しくなってくるので、1年生で学習する文法・単語をしっかり身に着ける事で、「取返し」の時間を節約する事ができます。



おめでとうございます!

第2回英検と3級対策コース

当校での英検実施日は、10月1日(日)を予定しています。受験を申込みされた方は、今一度、受験開始時間等の詳細をご確認ください。受験会場はあかしあ台教室です。お迎えは混雑をさけるため、お車以外でお願い致します。

3級対策コースは、9月8日よりスタートします。受講をご希望の方はお申込みください。



9月 & 10月のスクールカレンダー

黒で塗りつぶされた箇所は休校日です。

9月							10月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3						1	
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22
25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29
							30	31					

英語と日本語の発音の違い

語学の基本は「音」。時代や文化を超えて、人間は古来よりず〜と音から言葉を習得してきました。

音から入る事が一番理にかなっているのですが、日本の英語教育はこの音に関してあまり注力していないような気がします。音が入っていないので発音できない、発音できないから聞き取れない、この悪循環を断ち切らないといつまでたっても英語が上達しません。

最初から正しい発音を覚えると、英語学習が一段と楽しくなります。発音がよくなるとリスニング力が上達するのはもちろん、リーディングも向上します。英語は黙読していても、頭の中で音を再現しているのです、正しい発音が身につくと頭の中で音が滑らかに繋がってきます。また、発音がよくなるとライティングにさえ影響してきます。言語とはもともと話し言葉なので、音が滑らかに繋がらない文章は不自然に感じるようになってきます。ちゃんと発音ができていれば、スペリングにも大きく影響し、暗記に頼らなくても、ある程度綴り方も予想できます。

小さい頃から英語を学習するメリットは、聞いた音をそのまま再現できる耳に優れている事、そして時間という艇を使って、音の貯蓄量を増やすことができることかなと思います。

大人になってから発音を習得するためには、日本語と英語の発音の違いを正確に知り、繰り返し練習する事が大事です。理屈を理解し、練習し、発音をチェックしてもらい、また練習。そしてどんどん英語を使ってみる事。「通じない」という苦い経験をしてこそ、初めて改善すべきポイントが分かってきます。「完璧になってから英語を使おう」などと考えていると、きちんとした発音が身につくことはありません。「恥をかけた、失敗した、通じなかった」という実体験は言語習得にはプラスになると思います。

日本語と英語の発音の違いは下記の8つに集約されます。日本語とはまったく性質の違う言語だという事が分かるかと思いますが。カタカナ英語は完全に頭の中から追い出して下さい。頭が真っ白な状態から、これらの違いを注意しながら発音の練習の取り組んでみて下さ

- ① 日本語にない音が英語には大量にある
- ② 「音のかたまり」の捉え方が違う
- ③ リズムが違う
- ④ 英語は繋げて話す事が多い
- ⑤ イントネーション・アクセントが違う
- ⑥ 呼吸の仕方が違う
- ⑦ 声の大きさ、響かせ方が違う
- ⑧ 声の高さが違う

警報が発令した場合

9月~10月にかけて台風が多い時期となります。

警報が発令した場合、基本的に教室は運営しておりますが、くれぐれもお子さんの安全を最優先にご判断ください。警報が理由でお休みされる場合は、振替もしくは補講をご利用ください。

ただし、状況が悪化し、外出が著しく困難になる場合は、ホームページでクラス休講をお知らせいたします。